



学びの里・「種蔵の景観に学ぶ」

11月 **11** 金

詳細はWEBで



講師：森山 明
（株式会社 森山 明景観技術事務所）

時間：昼食休憩をはさんで
10:00 ~ 15:00
参加費無料 / テキスト配布

会場 / TANEKURA HOUSE



景観を守り育てる —オムニスケープへの展開

前回は、「景観」という概念について理解するために必要とされる、空間的視点・時間的視点についての概説に参加していただいた後、景観を視覚的に把握する方法である、「立ち止まって見る」「移動しながら見る」を、種蔵地内において実施し、後日景観保全マップを作成しました。今回は、人間の五感で景観を捉える「オムニスケープ」という新たな考え方・手法を取り込みながら、「景観」「景観保全」について学びます。

「景観」とは地理学の概念で、地球上に存在する自然や田園、都市や農漁村集落などを「視覚的に把握すること」で成り立つ風景を指す言葉です。世界各地の美しい風景や雄大な景色は「景観の価値」が大きく、人類の貴重な資産として残すべきものとして認知されています。

日本でも 2005 年に「景観法」—都市や農山村漁村の良好な景観形成を促進する総合的な法律が施行され、景観という用語が社会に認知されつつあります。

森山 明

景観プランナー・(株) 森山景観技術事務所
愛知県立芸術大学美術学部彫刻科 非常勤講師 (1991年~)
武庫川女子大学景観建築学科 非常勤講師 (2020年~)

